

シラバス 介護職員初任者研修

職務の理解

目的

- 研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について具体的なイメージを持って実感できるようになる。
- 介護職員が介護サービスを提供する環境・対象者・サービス内容について具体的なイメージを持って、以降の研修に取り組めるようになる。

指導の視点及び展開例

- 研修過程全体(130時間)の構成と各研修科目(10科目)の相互の関連性の全体像をあらかじめイメージできるように学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促す。
- 視聴覚教材等を工夫するとともに、介護職が働く現場や仕事の内容を出来るかぎり具体的に理解させる。

修了時の評価ポイント

修了時の評価はなし

内容

○多様なサービスの理解

【講義内容・概要】

- ・介護保険による居宅サービス
- ・介護保険による施設サービス
- ・介護保険外サービス

【講義のポイント】

- ・各種介護サービスの種類と居宅・施設等、介護サービスを提供する環境の特性を理解する。
- ・介護保険外サービスの種類とサービスの目的と意義について理解する。

○介護職の仕事内容や働く現場の理解

【講義内容・概要】

- ・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。

【講義のポイント】

- ・ケアプランの位置付けに始まり、サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種、介護保険外・サービスを含めた地域の社会資源との連携について理解する。

シラバス 介護職員初任者研修

介護における尊厳の保持・自立支援

目的

○介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を行動例を交え、解説しつつ理解する。

指導の視点及び展開例

- 具体的な事例を複数示し、利用者およびその家族の要望にそのまま応えることと、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違い、自立という概念に対する気づきを促す。
- 具体的な事例を複数示し、利用者の残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化の防止・遅延化に資するケアへの理解を促す。
- 利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考えさせ、尊厳という概念に対する気づきを促す。
- 虐待を受けている高齢者への対応方法についての指導を行い、高齢者虐待に対する理解を促す。

修了時の評価ポイント

- 介護サービスを提供する際の課題となる、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援に関して解説できる。
- 虐待・身体拘束・サービス利用者の尊厳、過剰な介護サービス提供による自立の阻害等介護サービスを提供する際に注意すべき基本的なポイントを解説できる。

内容

○人権と尊厳を支える介護

【講義内容・概要】

- ・人権と尊厳の保持
- ・ICF(国際生活機能分類)
- ・QOL(クオリティ・オブ・ライフ)
- ・ノーマライゼーション
- ・虐待防止・身体拘束禁止

【講義のポイント】

- ・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ。
- ・介護に関する基本的な視点(ICF, QOL, ノーマライゼーション)について理解する。
- ・利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。

○自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・自立支援
- ・介護予防

【講義のポイント】

- ・介護における自立とは何かを学ぶ。
- ・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。
- ・介護の予防の考え方について理解する。

シラバス 介護職員初任者研修

介護の基本

目的

○介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。
○介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる。

指導の視点及び展開例

○可能な限り具体例を示す等の工夫を行い、介護職に求められる専門性に対する理解を促す。
○介護におけるリスクに気づき、緊急対応の重要性を理解するとともに、場合によってはそれに一人で対応しようとせず、サービス提供責任者や医療職と連携することが重要であると実感できるよう促す。

修了時の評価ポイント

○介護の目指す基本的な役割とサービスごとの特性、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について解説できる。
○介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際に気をつけるポイントについて解説できる。
○生活支援の場で出会う典型的な事故や感染、ヒヤリハットから事故発生等、介護における主要なリスクについて解説できる。
○介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方等について解説できる。

内容

○介護職の役割、専門性と多職種との連携
【講義内容・概要】
・介護環境の特徴、介護の専門性と介護にかかわる職種
【講義のポイント】
・介護環境の特徴(施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など)と専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。
・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。
○介護職の職業倫理
【講義内容・概要】
・介護福祉士の倫理と専門職の倫理の意義
【講義のポイント】
・介護職がもつべき職業倫理を学び、日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職にかかわる倫理綱領を理解する。
○介護における安全の確保とリスクマネジメント
【講義内容・概要】
・介護における安全の確保(事故予防、安全対策、感染対策)
【講義のポイント】
・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。
・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。
○介護職の安全
【講義内容・概要】
・介護職の心身の健康管理と感染予防
【講義のポイント】
・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。
・介護職に起こりやすいところからだの病気や障害について学ぶ。
・介護職自身の健康管理の方法(病気や障害の予防と対策)について学ぶ。

シラバス 介護職員初任者研修

介護・福祉サービスの理解と医療との連携

目的

○介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを習得する。

指導の視点及び展開例

○介護保険制度・障害者自立支援制度を担う一員として、介護保険制度の理念に対する理解を徹底する。
○利用者の生活を中心に考えるという視点を共有し、その生活を支援するための介護保険制度・障害者自立支援制度・その他の制度のサービスの位置づけや、代表的なサービスの理解を促す。

修了時の評価ポイント

○生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について解説できる。
○介護保険制度や障害者総合支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について解説できる。
○ケアマネジメントの意義、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて解説できる。
○高齢障がい者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について解説できる。

内容

○介護保険制度

【講義内容・概要】

- ・介護保険制度創設の背景および目的、動向
- ・介護保険制度のしくみの基礎的理解と制度を支える財源、組織・団体の機能と役割

【講義のポイント】

- ・介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。
- ・介護保険制度の基本的なしくみとかかわる組織、その役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。

○医療との連携とリハビリテーション

【講義内容・概要】

- ・医療行為と介護
- ・訪問看護
- ・施設における看護と介護の役割・連携
- ・リハビリテーション

【講義のポイント】

- ・介護職と医療行為の実情と経過について理解する。
- ・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。
- ・リハビリテーションの理念と考え方について理解する。

○障害者福祉制度およびその他の制度

【講義内容・概要】

- ・障害者福祉制度の概念としくみの基礎的理解
- ・個人の人権を守る制度の概要

【講義のポイント】

- ・障害者福祉制度における障害の概念について、その歩みをふまえて学ぶ。
- ・障害者福祉制度の基本的なしくみについて理解する。

シラバス 介護職員初任者研修

介護におけるコミュニケーション技術

目的

○高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限のとるべき(とるべきでない)行動例を理解する。

指導の視点及び展開例

○利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考えさせ、相手の心身機能に合わせた配慮が必要であることへの気づきを促す。
○チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気づきを促す。

修了時の評価ポイント

○介護サービス利用者や言語、視覚、聴覚障がい者に対する共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上の気をつけるポイントについて解説できる。
○家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を解説できる。
○記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントについて解説できる。

内容

○介護におけるコミュニケーション

【講義内容・概要】

- ・コミュニケーションの意義、目的、役割とコミュニケーションの技法
- ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際
- ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際

【講義のポイント】

- ・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。
- ・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。
- ・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。

○介護におけるチームのコミュニケーション

【講義内容・概要】

- ・記録における情報の共有化(報告・連絡・相談)
- ・コミュニケーションをうながす環境

【講義のポイント】

- ・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方(注意すべき表現)等、気をつけるポイントについて解説できる。
- ・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。
- ・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。

シラバス 介護職員初任者研修

老化の理解

目的

○加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。

指導の視点及び展開例

○高齢者に多い心身の変化、疾病の症状等について具体例を挙げ、その対応における留意点を説明し、介護において生理的側面の知識を身につけることの必要性への気づきを促す。

修了時の評価ポイント

○加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について解説できる。
○高齢者に多い疾病の種類とその症状、特徴と生活上、慢性的に発生する症状や訴えについて解説できる。

内容

○老年期の発達と老化にともなう心身の変化の特徴

【講義内容・概要】

- ・老年期の定義
- ・老年期の発達と老化にともなう心身の変化の特徴
- ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響

【講義のポイント】

- ・老年期や高齢者の定義について理解する。
- ・老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。
- ・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。
- ・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。

○高齢者と健康

【講義内容・概要】

- ・高齢者の症状・疾患の特徴
- ・高齢者の疾病と日常生活上の留意点
- ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点

【講義のポイント】

- ・高齢者の多くにみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。
- ・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する。

シラバス 介護職員初任者研修

認知症の理解

目的

○介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解する。

指導の視点及び展開例

○認知症の利用者の心理・行動の実際を示す等により、認知症の利用者の心理・行動を実感できるよう工夫し、介護において認知症を理解することの必要性への気づきを促す。
○複数の具体的なケースを示し、認知症の利用者の介護における原則についての理解を促す。

修了時の評価ポイント

○認知症ケアの理念や、利用者中心というケアの考え方について解説できる。
○健康な高齢者の「もの忘れ」と、認知症による記憶障害及び、若年性認知症の特徴について解説できる。
○認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)等の基本的特性及びポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方及び介護の原則について解説できる。
○認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、生活不活発病予防について解説できる。

内容

○認知症を取り巻く環境

【講義内容・概要】

- ・認知症のケアの理念
- ・認知症ケアの視点

【講義のポイント】

- ・「認知症を中心としたケア」から、「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。
- ・問題視するのではなく人として接することを理解し、できないことではなくできることをみて支援することを理解する。

○医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理

【講義内容・概要】

- ・認知症の概念・原因疾患とその病態と原因疾患別ケアのポイントと健康管理

【講義のポイント】

- ・老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する。
- ・認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。
- ・アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症のおもな原因疾患の病態、症状について学ぶ。

○認知症にともなうこころとからだの変化と日常生活

【講義内容・概要】

- ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴と対応

【講義のポイント】

- ・認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ。
- ・認知症の人の行動と環境との関係について理解する。
- ・病気の症状があっても、その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。

○家族への支援

【講義内容・概要】

- ・認知症の人を介護する家族へのレスパイトケアと実施できる支援

【講義のポイント】

- ・家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ。
- ・家族とは助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。

シラバス 介護職員初任者研修

障がいの理解

目的

○障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。

指導の視点及び展開例

- 介護において障害の概念とICFを理解しておくことの必要性の理解を促す。
- 高齢者の介護との違いを念頭におきながら、それぞれの障害の特性と介護上の留意点に対する理解を促す。

修了時の評価ポイント

- 障害の概念とICF(国際生活機能分類)について解説できる。
- 各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について解説できる。
- 障害の発生から受容までのプロセスと基本的な介護の考え方について解説できる。

内容

○障害の基礎的理解

【講義内容・概要】

- ・障害の概念とICF
- ・障害者福祉の基本理念

【講義のポイント】

- ・「障害とはどういうものなのか」という考え方を学び、国際生活機能分類(ICF)にもとづきながら、「障害」の概念について理解する。
- ・障害者福祉の基本理念(ノーマライゼーション, リハビリテーション, インクルージョン)について理解する。

○障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識

【講義内容・概要】

- ・身体障害、知的障害、精神障害、発達障害
- ・難病

【講義のポイント】

- ・障害の原因となるおもな疾患を理解する。
- ・障害にともなう心理的影響, 障害の受容を理解する。
- ・障害のある人の生活を理解し, 介護上の留意点について学ぶ。

○家族の心理、かかわり支援の理解

【講義内容・概要】

- ・家族の理解と障害の受容支援と介護負担の軽減

【講義のポイント】

- ・家族支援は, 家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。
- ・日本に求められるレスパイトサービス(生活支援事業)の課題を学ぶ。

シラバス 介護職員初任者研修

こころとからだのしくみと生活支援技術

目的

○介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。
○尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。

指導の視点及び展開例

○介護実践に必要なこころとからだのしくみの基礎的な知識と介護の流れを示しながら、視聴覚教材や模型を使って理解させ、具体的な身体各部の名称や機能等が列挙できるように促す。
○サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供しかつ不満足を感じさせない技術が必要となることへの理解を促す。
○例えば『食事の介護技術』は「食事という生活の支援」と捉え、その生活を支える技術の根拠を身近に理解できるように促す。さらに、その利用者が満足する食事が提供したいと思う意欲を引き出す。他の生活場面でも同様とする。
○「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるように、身近な素材からの気づきを促す。

修了時の評価ポイント

○主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを解説できる。
○要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則、生活の中の介護予防及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を解説できる。
○人体の構造や機能、記憶の構造や意欲等を支援と結び付け、なぜ行動が起こるのかを概説できる。
○家事援助の機能と基本原則について解説できる。
○装うことや整容の意義について概説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。
○ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や多職種との連携(ボランティアを含む)について解説できる。
○移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄時・睡眠時における睡眠のからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
○各種介護が必要な場面において必要な福祉用具(車椅子・杖等)の基本的な使用な方法を解説できる。

内容

○介護の基本的な考え方

【講義内容・概要】

- ・理論にもとづく介護
- ・法的根拠にもとづく介護

【講義のポイント】

- ・「介護」が理論的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。
- ・「介護」が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。

○介護に関するこころのしくみの基礎的理解

【講義内容・概要】

- ・学習と記憶に関する基礎知識
- ・感情と意欲に関する基礎知識
- ・自己概念と生きがい
- ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因

【講義のポイント】

- ・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。
- ・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。
- ・自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的な知識を理解する。

シラバス 介護職員初任者研修

こころとからだのしくみと生活支援技術

内容

○介護に関するからだのしくみの基礎知識

【講義内容・概要】

- ・生命の維持・恒常のしくみ
- ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識
- ・骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用
- ・中枢神経と体性神経に関する基礎知識
- ・自律神経と内部器官に関する基礎知識

【講義のポイント】

- ・生命の維持・恒常のしくみを理解する。
- ・骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する。
- ・神経の種類と、そのはたらきを理解する。
- ・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する。

○生活と家事

【講義内容・概要】

- ・生活と家事の理解
- ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援

【講義のポイント】

- ・生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。
- ・家事援助(調理, 洗濯, 掃除などの援助)は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。
- ・家事援助とは何かについて具体的に理解する。

○快適な居住環境整備と介護

【講義内容・概要】

- ・快適な居住環境に関する基礎知識
- ・高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用

【講義のポイント】

- ・安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。
- ・住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ。
- ・高齢者や障害のある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。

○整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・整容に関する基礎知識
- ・整容の支援技術

【講義のポイント】

- ・整容の必要性と、整容に関連するこころとからだのしくみを理解する。
- ・利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける。

シラバス 介護職員初任者研修

こころとからだのしくみと生活支援技術

内容

○移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・移動・移乗に関する基礎知識
- ・移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法
- ・利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援
- ・移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法
- ・移動と社会参加の留意点と支援

【講義のポイント】

- ・移動・移乗の必要性和、移動・移乗に関連するこころとからだのしくみを理解する。
- ・利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける。
- ・心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響について理解する。

○食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・食事に関する基礎知識
- ・食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法
- ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法
- ・食事と社会参加の留意点と支援

【講義のポイント】

- ・食事の必要性和、食事に関連するこころとからだのしくみを理解する。
- ・利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。
- ・心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。

○入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・入浴・清潔保持に関連する基礎知識
- ・入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法
- ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法

【講義のポイント】

- ・入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連するこころとからだのしくみを理解する。
- ・利用者本人の力をいかし、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける。
- ・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解する。

○排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・排泄に関する基礎知識
- ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法
- ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法

【講義のポイント】

- ・排泄の必要性和、排泄に関連するこころとからだのしくみを理解する。
- ・利用者本人の力を活用し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につける。
- ・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。

シラバス 介護職員初任者研修

こころとからだのしくみと生活支援技術

内容

○睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護

【講義内容・概要】

- ・睡眠に関する基礎知識
- ・睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法
- ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法

【講義のポイント】

- ・睡眠の必要性と、睡眠に関するこころとからだのしくみを理解する。
- ・心地よい睡眠を支援するための知識と技術を身につける。
- ・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。

○死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護

【講義内容・概要】

- ・終末期に関する基礎知識
- ・生から死への過程
- ・「死」に向き合うこころの理解
- ・苦痛の少ない死への支援

【講義のポイント】

- ・終末期のとらえ方を学ぶ。
- ・終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。
- ・死に直面したときの人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。

○介護過程の基礎的理解

○総合生活支援技術演習(事例による展開)

【講義内容・概要】

- ・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ
- ・事例提示を行い、適切な介護サービスができるか技術演習

(例1) 左半身麻痺・ベッドに仰臥位で就寝中の方を離床させ、ポータブルトイレに移乗介助を行う

(例2) 床に座り込んだ、筋力低下による立位困難の方を車椅子へ、その後ベッドに移乗介護を行う

シラバス 介護職員初任者研修

振り返り

目的

○介護職員初任者研修全体を振り返り、学んだことについて再確認を行う。
○就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、福岡県が主催する研修事業やキャリアアップに繋がる資格について解説を行う。

指導の視点及び展開例

○周りに他の受講生がいる状態で、介護サービスを提供する利用者様やご家族様がいないと仮定し、模擬演習を行う。その際、身だしなみや言葉遣いが適切であるか確認をお互いに行う。
○修了後も継続的に学習することを前提に、介護職員が身に付けるべき知識や技術の体系を確認し、受講者一人ひとりが今後何を継続的に学習すべきか理解できるよう促す。

修了時の評価ポイント

修了評価は無し

内容

○振り返り
【講義内容・概要】
介護職員初任者研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶことの確認
【講義のポイント】
○就業への備えと研修修了後における継続的な研修
【講義内容・概要】
・研修修了後、継続的に学ぶべきことの確認
・キャリアアップに関する国の考え方

シラバス 介護職員初任者研修

人権学習

目的

○事例を交えつつ、人権問題について考え、個人の意思や権利の尊重について理解する。

指導の視点及び展開例

○各種ハラスメントを始め、高齢者・障がい者・子どもの人権問題や、なぜ虐待・暴行事件が発生するのか事例を交え講習を行い、受講者一人ひとりが人権問題を未然に防げるように考えられるよう促す。

修了時の評価ポイント

修了評価は無し

内容

○高齢者問題をはじめとする人権問題

【講義内容・概要】

・過去に施設や居宅で発生した暴行・虐待を事例としてグループワークを行い、暴行・虐待の発生原因を考え自分自身が虐待等を起こさない為の取り組みについて考え、学ぶ。